

「白山白ねぎ」の新たな産地づくりに 取り組んでいます！

石川農林総合事務所 農業振興部



栽培講習会



ねぎの土寄せの様子

当事務所では、平成22年度から白山市における園芸産地の育成に向け、市、J A松任、J A白山と連携して、「たくましい農家を育てる会」を立ち上げ、「白山白ねぎ」を園芸生産拡大推進品目に位置づけて、新たな産地づくりに取り組んでいます。

白ねぎは、水稻や大豆などの作物と栽培管理の競合がないことや、農作業の機械化が進んでいることから、従来の野菜農家に加え、水稻や大豆栽培を中心とした集落営農組織においても、新規栽培品目として取り組み易い作物です。

当事務所では、これまで、生産拡大を図るため、既存の生産者への作付拡大指導を行うほか、新規生産者を増やすために、水稻作付農家や集落営農組織に対して、座談会等で、新たな品目に取り組むことによる経営の複合化のメリットや、白ねぎ栽培の特徴について情報提供を行ってきました。

この結果、取組前は4経営体で、栽培面積約1ha、出荷量4t、125万円の売り上げでしたが、本年度は5つの営農組織を含む19経営体で栽培面積約5ha、出荷量50t、1,500万円の売上が見込まれています。

今後は、1戸当たりの規模拡大を図るため、収穫時期を拡大する作型の実証ほを設置するほか、土寄せ機や皮むき機などの作業機械の導入により、作業の省力化を進めます。そして、出荷量の拡大と安定化を図り、「白山白ねぎの1億円産地！」という大きな目標の達成に向けて新たな産地育成を積極的に支援していきます。

問い合わせ先：石川農林総合事務所農業振興部（076-276-0371）